

○ パブリックコメントにおける意見について

資料 1

●新制度全般

(新制度の周知)

- ・ 新制度の円滑な施行に向けて、手続の進め方等を分かりやすく周知して欲しい。(多数)

(添付書類の省略・事務簡素化)

- ・ 添付書類の提出をできるだけ簡素化して欲しい。(多数)

(新制度における認定や許可の申請手数料)

- ・ 手数料について、廃止又は低額として欲しい。(多数)

●技能実習計画の認定関係

(同等報酬要件)

- ・ 同等報酬要件を厳格に運用し、フルタイムの労働者との比較等を行うべき。
- ・ 最低基準額を業種や地域ごとに定めるべき。
- ・ 既に実習生は家賃、生活費等で優遇されていることを踏まえ、一律に最低賃金で良いことにすべき。

(実習生の2号修了時の一旦帰国要件)

- ・ 帰国の義務付けは必要ない。帰国の時期・期間は本人の意向に任せて欲しい。(多数)

(その他の要件)

- ・ 技能実習生の要件、技能実習の目標の要件、複数職種
の要件、宿泊施設の要件、人数枠等について、緩和す
べき・厳格にすべきとの意見。

●監理団体の許可関係

(外部役員・外部監査)

- ・ 外部役員について、少なくとも現役の員外理事はその就
任を可能とするなど、要件緩和して欲しい。(多数)

- ・ 監理団体の構成員が一律に排除される仕組みは厳しい
ので、排除する範囲を限定して欲しい。
- ・ 外部役員・外部監査の導入について、賛成できる。
- ・ 有資格者のみ就任可能とするなど、外部役員の要件を
厳格化して欲しい。

(その他の要件)

- ・ 監理費、監理責任者の要件等について、緩和すべき・厳
格にすべきとの意見。

●優良な実習実施者及び監理団体関係

- ・ ポイント全体の6割を満たすという基準は厳しいので緩和
して欲しい。(多数)
- ・ ポイント全体の6割を満たすという基準は緩やかなので、
より高い水準とすべき。(多数)
- ・ 合格率の設定が高水準で、マイナス点の設定もあり、こ
れでは優良となるのは難しい。(多数)
- ・ 現在の平均的な合格率で一番高いポイントがとれるなど、
誰でも優良となれてしまうのではないか。(多数)

●基本方針関係

- ・ 技能実習制度において、関係機関の連携を強化すべき。
- ・ 実習先は、時期を問わず変更できるようにすべき。
- ・ 地域によって賃金格差もあるため、3号実習生が実習先
を選択できる制度とはしないで欲しい。

●施行日について

- ・ 実習実施者や監理団体が新制度への対応を適切に行う
ためには、十分な準備期間が必要であり、施行期日につ
いては法で定められた範囲内で可能な限り遅い日に設定
すべき。(多数)

※全体189件